

**HARMONIZE**

by JB Group

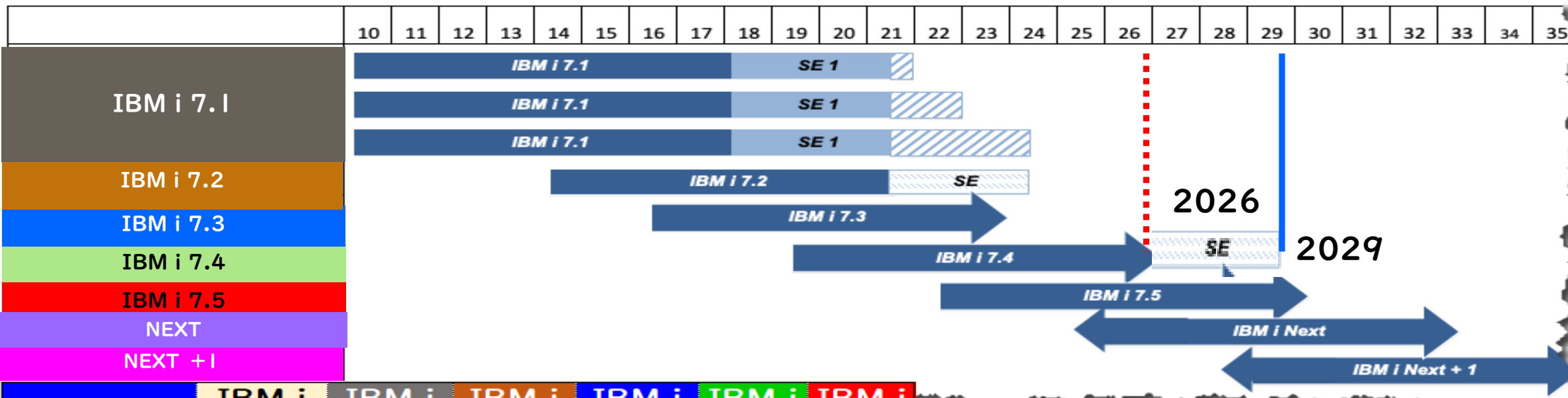
【IBM Powerコラム】

IBMi 最新OS7.5機能まとめと「セキュリティ20廃止」  
の対応方法解説

Service introduction of HARMONIZE

2022年9月15日

JBCC株式会社  
ソリューション事業  
PFS事業部



サーバー種別	IBM i 6.1	IBM i 7.1	IBM i 7.2	IBM i 7.3	IBM i 7.4	IBM i 7.5
Power10	×	×	×	◎	◎	◎
Power9	×	△ S922、 E980のみ	◎	◎	◎	◎
Power8	×	○	◎	◎	◎	×
Power7	○	○	○	◎	×	×
Power6	○	○	△ IOP サポートなし	×	×	×
Power5	○	○	×	×	×	×
Power4	○	×	×	×	×	×

- Ver7.5以降はPower8はサポートされない。
- セキュリティレベル20が使える最終OSである Ver7.4のタイムリミットの期限は 延長保守を考慮しても2029年末まで!



**セキュリティ対策の猶予期限はあと7年**

- IBM i 7.5の発表では、セキュリティ・レベル20を廃止しました。現在セキュリティ・レベル20を使用中のユーザーはアップグレードしても20のままですが、新しいマシンのIBM i(OS)で40に設定されている場合、ユーザーは20へ戻ることはできません。

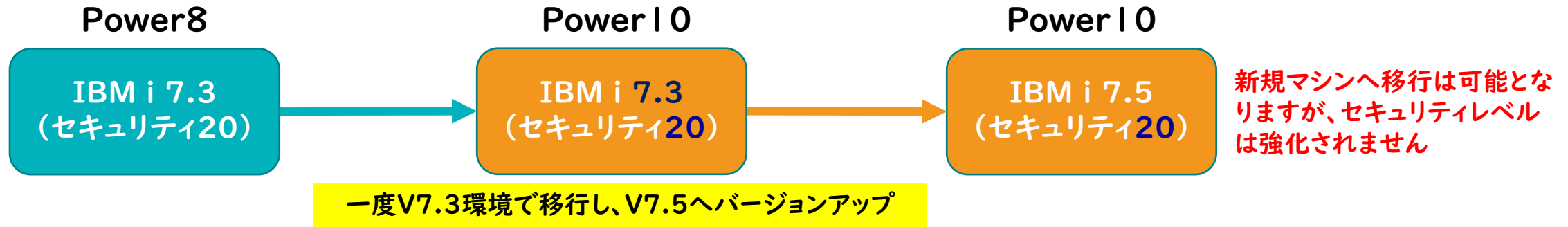
IBM® i プラットフォームのセキュリティには、5つのレベルがあります。セキュリティ・レベル(QSECURITY) システム値を設定することにより、システムで実施するセキュリティのレベルを選択できます。

レベル	詳細
レベル 10	レベル 10 はサポートされなくなりました。
レベル 20	システムへサインオンする際に、ユーザー ID とパスワードが必要になります。すべてのユーザーに、すべてのオブジェクトへのアクセス権が与えられます。
レベル 30	システムへサインオンする際に、ユーザー ID とパスワードが必要になります。資源のセキュリティが実施されます。
レベル 40	システムへサインオンする際に、ユーザー ID とパスワードが必要になります。資源のセキュリティが実施されます。また、追加の保全性保護機能も実施されます。
レベル 50	システムへサインオンする際に、ユーザー ID とパスワードが必要になります。資源のセキュリティが実施されます。レベル 40 保全性保護および拡張された保全性保護が実施されます。セキュリティ・レベル 50 は、セキュリティ要件の高い IBM i プラットフォームを対象としたもので、共通基準 (CC) セキュリティ要件を満たすように設計されています。

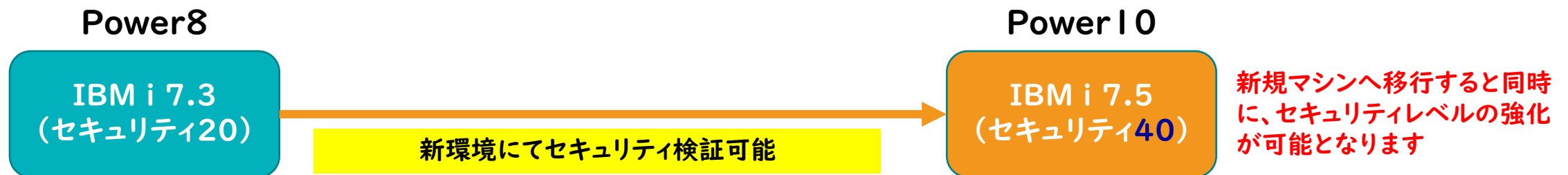
- 現行レベル20利用のお客様はレベル40までアップグレードする事を推奨致します。
- 次ページ以降にマシンリプレースする際の移行方法やJBCCのセキュリティサービス内容について記載しております。

IBM i V7.5での仕様ではシステム・セキュリティ (Qsecurity) が**初期値レベル'40'**にて出荷されます。今後、リプレースなどでバージョンアップもご検討の際は、以下2パターンでの対応となります。

- ① 現行マシン上でV7.5までバージョンアップ実施して、Power I0へ移行する方法 (**現行維持**)



- ② 新規マシン上でセキュリティレベルを上げて、Power I0へ移行する方法 (**セキュリティ強化**)



JBCCでは今後もPowerSystemを安全にご利用いただきたく、②パターンをご推奨致します。次ページ以降にセキュリティ対策についてのご提供サービスとなりますので、ご検討お願い致します。

IBM i V7.5での仕様ではシステム・セキュリティ(Qsecurity)が**初期値レベル'40'**にて出荷されます。現行セキュリティレベルを'20'で設定されているお客様はV7.5へのバージョンアップ計画の一環として、**セキュリティレベルのアップグレードをご検討する事をお勧め致します。**  
以下のサービスはJBCCが実施する想定作業内容となりますので、詳細は別途ご相談下さい。

セキュリティレベル	概要	システム対応	対応作業工数	概算費用
レベル20	ユーザー ID とパスワードが必要になります。すべてのユーザーに、すべてのオブジェクトへのアクセス権が与えられます。	※作業範囲外	※作業範囲外	※作業範囲外
レベル30	上記に加えて、ユーザーの持つアクセス権に応じて操作が制限されます。	ユーザーの*ALLOBJ特殊権限が除去される事から、全てのオブジェクトに対してアクセス権設定が必要となる	15人日 (ポリシー設計、構築作業、動作検証、成果物作成)	200万円～
レベル40 (推奨)	上記に加えて、サポートされていないインターフェースからのプログラム実行が制限されます。	サポートされていないインターフェースからの呼び出しがあるかどうかの調査と検証	15人日 (ポリシー設計、構築作業、動作検証、成果物作成)	200万円～

※要件や規模によって金額は変動しますので、上記は参考価格となります

上記と一緒に内部統制管理も一緒に検討いただく事を推奨致します(次ページ)

前項のIBM i セキュリティ・レベルでは、ユーザーとオブジェクトの対するアクセス権限を付与するセキュリティ強化策でしたが、**ユーザーへの抑止や誰が何をしたのかをログとして履歴を残せる監査対応も重要な要素**になってきます。

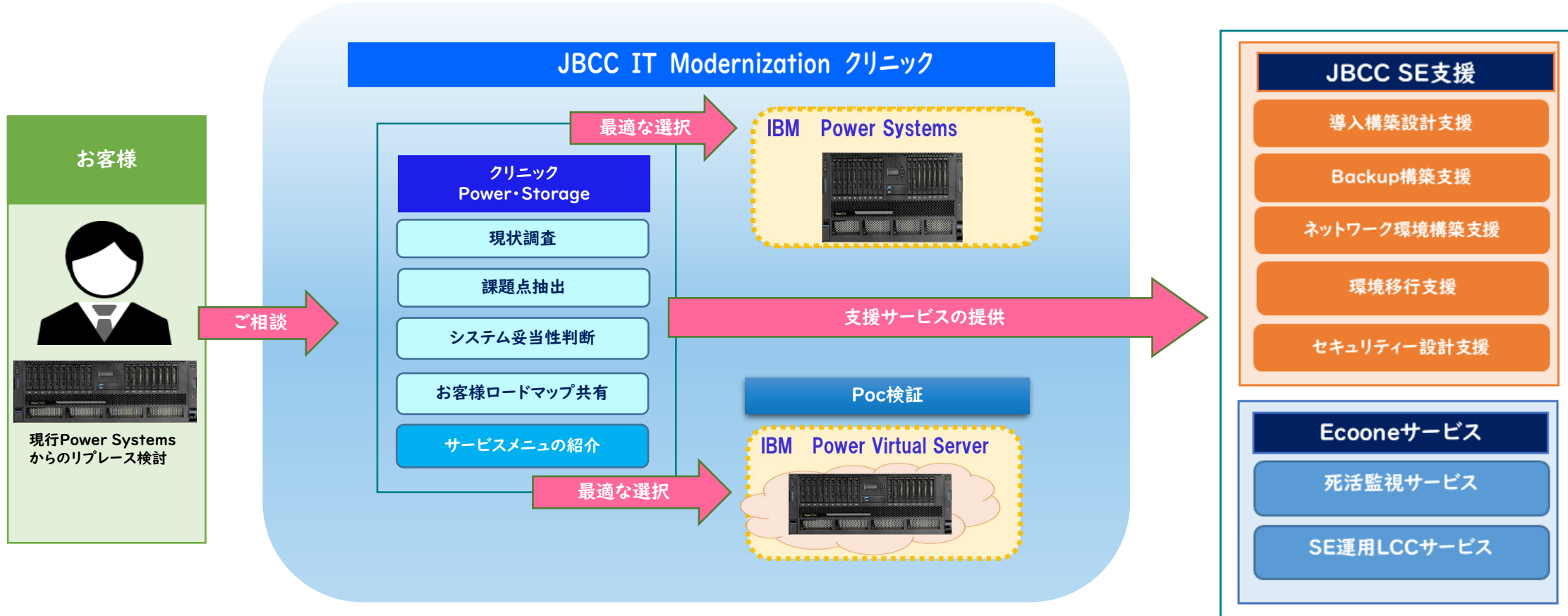
以下では、サードベンダー製品を利用する前提にて、お客様へご提供可能なサービスとなります。

機能	項目	内容	対応作業工数	概算費用
システム保護	FireWall (外部アクセス制御)	FTP、Telnet、ODBC/JDBCなどによるアクセスをログに記録し、不正なダウンロードを防止	5人日 (ポリシー設計、構築作業、動作検証、成果物作成)	60万円～
	Password (パスワード妥当性チェック)	不当なパスワードの作成を防止したり、ユーザーが変更しようとしたパスワードの妥当性チェック	3人日 (ポリシー設計、構築作業、動作検証、成果物作成)	40万円～
検知・分析	Acitoin (不正アクセス検知)	あらかじめ設定しておいた条件に合致するアクセスがあった場合、システム上のコマンドの自動発動、通知の即時送信が可能	4人日 (ポリシー設計、構築作業、動作検証、成果物作成)	50万円～
データベース操作	Journal (レコード操作監視)	重要なファイルへのアクセスをレコードレベルで監視する機能を提供	3人日 (ポリシー設計、構築作業、動作検証、成果物作成)	40万円～
システム監査	Audit (監査ログ)	システム内部で発生したセキュリティ・イベントをリアルタイムにログとして記録し、ユーザーによるファイルへのアクセス、作成、削除、システム値の変更などのアクションを詳細に把握が可能	4人日 (ポリシー設計、構築作業、動作検証、成果物作成)	50万円～

※要件や規模によって金額は変動しますので、上記は参考価格となります

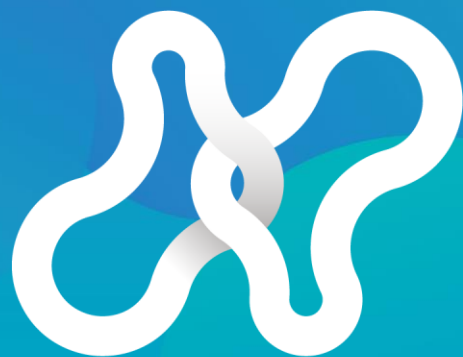
# JBCC IT Modernization クリニック

お客様の要望や課題を把握し、最適な提案を実施致します！



IT Modernization クリニックご案内・お申込み→

[https://www.jbcc.co.jp/products/solution/pfs/free/modernization\\_clinic/](https://www.jbcc.co.jp/products/solution/pfs/free/modernization_clinic/)



**HARMONIZE**

by JB Group

**JBグループは お客様のデジタル変革を“HARMONIZE”でご支援します。**